

HCC TIMES

Vol.230

2022

8

https://npo-sgh.org



NPO法人 SG博友会

〒560-0085 豊中市上新田3丁目10番35号
TEL:06-6444-3030 FAX:06-6444-3552
編集元 HCC事務局 石倉慎也

7月1日 緩和外来新設のお知らせ

現在、医療法人成和会ほうせんか病院(南館)において、緩和ケア病棟を運用しておりますが、より多くの患者様にご利用いただくために2022年7月1日より「緩和外来」を新設する運びとなりました。

ほうせんか病院の緩和ケア病棟は、当時一般障がい者病棟であったベッド病床の部に、あたる23床を緩和ケア病棟の入院料に変更し、2015年9月よりスタートいたしました。その後、2016年5月より48床に増床し、今の緩和ケア病棟の病床数となっております。緩和ケアでの48床は全国的に見てもかなり大きな規模であり、様々な可能性を秘めた病棟となっております。

新しく始めることですので、何かと迷惑をお掛けすることがあるかと思いますが、患者様を一番に想い、取り組んでまいりますので、どうぞこれからもよろしくお願ひ申し上げます。

副コミニティ長

井後 恵介

新設の目的といたしましては、ご紹介いただいても面談に至らず、患者様にご迷惑をお掛けしているケースが見受けられますので、ご紹介いただいた患者様は必ず当院にて面談を行い、当院の良さを知っていただくこと。また、現状ではご紹介から面談実施まで10日以上要している日数をより短縮し、患者様をお待たせしない体制の確保。そしてまだまだご利用していただけないレスパイト入院を、よりご利用していただくための体制確保。現状行えていない在宅患者様へのアフターフォローの実現等、多くの問題をこの「緩和外来」を実施することで改善していきたいと考えております。また、改善を行うことにより、地域の方々より「緩和」と言えは、ほうせんか病院」と言っていただけのように

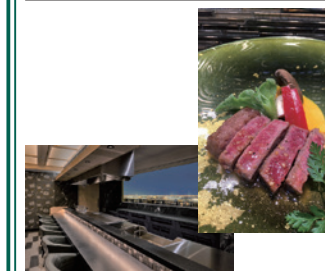
な病院を目指してまいりま。ほうせんか病院の緩和ケア病棟は、当時一般障がい者病棟であったベッド病床の部に、あたる23床を緩和ケア病棟の入院料に変更し、2015年9月よりスタートいたしました。その後、2016年5月より48床に増床し、今の緩和ケア病棟の病床数となっております。緩和ケアでの48床は全国的に見てもかなり大きな規模であり、様々な可能性を秘めた病棟となっております。

から7年が経過しましたが、その間にいただいた様々なご意見や7年間で学んだことを参考にし、今度「ほうせんか」の緩和ケア(ほうせんかホスピス)体制を見直し、今ある48床を利用し、最大限に社会貢献ができる体制創り、また他の病院にはない今以上のサービスの開発やより患者様に寄り添った体制を構築し、真に患者様やご家族にとって「ほうせんかホスピス」があつて良かったと思っていただけの病院創りを行なうてまいります。

ほうせんか **CCRC豊泉家 芦屋山手** 全159床
Continuing Care Relife Community

2022年4月にオープンしたCCRC豊泉家 芦屋山手は、「選択」できる多様なサービスが特徴の一つです。決められた生活の中だけでなく、ご自身で選び、日々の暮らしを豊かにしていく「自立・自由度」の高いホームとして、皆様にご満足いただけるサービスをご用意しております。

今回、3大サービスとしてご用意しております『食事』『新予防』『娯楽』サービスについてご紹介いたします。



食事サービス

食事サービスを提供する豊食株式会社は、芦屋コミニティにおいて、豊泉家の食の新たな取り組みとして、和食・洋食・中華・鉄板料理など6つのレストランを併設しました。各レストランで様々な料理を選択していただくことが可能になり、より自立・自由度の高い、食の選択を叶えることができるようになります。

6つのレストランの中で特におすすめなのは、鉄板料理を提供する「味処 桃源郷」です。ケアハウス棟の最上階に位置し、目の前でシェフが調理する鉄板料理の後ろには、神戸芦屋を望める大きな窓があり、お食事と景観を同時に楽しむことができます。特別な日やご家族でゆっくり過ごされた時にピッタリです。

また、食の魅力はレストランだけではなくありません。毎日のお食事として提供しているホーム食(給食)も、京都の老舗「八代目儀兵衛」様のお米を使用するなど厳選したこだわりの食材を使用しています。これからの、毎日のお食事がご入居者・ご利用者ウエロの生活の楽しみの一つとなる様、心を込めてご提供してまいります。

記者・豊食株式会社 取締役事業部長 吉村 真一



新予防サービス

新予防サービスを提供するHAP株式会社は、人生100年時代と言われる超高齢社会の中で、個々の皆様から「豊泉家ライフ」を自分らしく心豊かに健康的に過ごせるように、ご本人ご家族に代わって、健康管理を行なうてまいります。まずは介護・医療と連携を図り、病気の早期発見、早期対応のサポートを行い「健康寿命延伸」に寄与していきます。

基本サービスとしては、

- ①新予防健診の受診調整
- ②新予防健診の受診付添い
- ③結果通知、カンファレンスの調整
- ④ご本人の健康に関わる情報の集約
- ⑤予防計画の立案

等です。

オプショナルサービスとしては、ご本人ご家族のご意向を伺い、⑥自分らしく心豊かに「豊泉家ライフ」を満喫していただけるようなニーズ・ウォンツを形にしたサービス提供⑦定期受診の付添い等を準備中です。

ご入居初年度だけではなく、次年度以降も新予防サービスを継続することで病気の把握と予防を徹底して「豊泉家ライフ」健康寿命延伸を実現してまいります。

記者・HAP株式会社 PCC キヤブテン 中野 千穂美



娯楽サービス

娯楽サービスを提供する豊泉家コミュニティクラブ(HCC)芦屋山手は、これまで豊泉家グループ内の他ホームで培ってきた経験に加え、芦屋山手ならではの娯楽提供を目指して、唯一無二のサービスを挑戦のために試行錯誤し、日々挑戦しております。

毎日のアクティビティでは、複数のサービスを用意し、「音楽」「運動」「リフレクシユ」「芸術」「生涯学習」と5つのカテゴリから皆様に選択していただける自立・自由度の高いアクティビティを目指しています。

また毎月のイベントでは、「春の奏(ソプラノピアノ演奏)」「芦屋マジックショー(大道芸)」「夏越の祓(雅楽演奏)」など、プロの演奏者様による素敵な演奏やパフォーマンスを感じるイベントも取り入れております。

HCC芦屋山手では様々な挑戦を行い、個々の皆様、またご家族の皆様が「心から楽しんでいただけるサービス」の提供を目指してまいります。

記者・NPO法人SG博友会 HCC バイスキヤブテン 清水 謙介

夏越の祓とは
夏越の祓(なごしのはらえ)とは、一年の半分にあたる6月30日に執り行われる神事であり、年越の祓とともに大祓のうちのつらなりです。茅の輪くぐりや夏越こはねをいただくことで、半年間の自身の穢れや災厄を祓い、残り半年の無病息災を祈願することを目的としています。

HCC北緑丘

6月21日(火)・22日(水)

午前午後2部制で開催し、午前中は茅の輪くぐりを行い、半年の穢れを清めていただきました。神主に扮したフェローと記念撮影や茅の輪を八の字にくぐり健康祈願をしていただきました。中には「懐かしい」、ホムで夏越の祓が出来るとは思っていたが「懐かしい」など驚きと喜びの声をいただきました。会場には鳥居も設置し、雅楽を流して神社の雰囲気も味わっていただきました。

午後からは音楽療法士の講師による『音楽療法コンサート』を行いました。これからの季節にピッタリな歌に合わせて身体を動かしてピアノの演奏を聴いていただき、音楽と体操で健康を祈願いたしました。



デザートには邪気払いの意味を込めて、水羊羹をお召し上がりいただき、内容盛り沢山の一日となりました。

暑い季節がやってきましたが、残り半年も心身ともに元気に過ごしていただけるよう、これからも様々な企画を創ってまいります。

記者・高崎 孝宜

HCC住之江 6月30日(木)

当日、2台の茅の輪を設置し、雅楽が流れる中、皆様には蘇民将来をみんしよらうの言葉を唱えながら、神主に扮した小中陽三「ミニ」ディ長先導のもと、茅の輪くぐりを行いました。

また行事食には、白いつらうに小豆が乗った見三角形にも涼しく、昔、宮中に納められた水を使った。皆様にも美味しく、非常に好評の声をいただきました。

残り半年も健康でいたってほしいから、巫女に扮した音楽療法士の講師によるコンサートを開催し、演奏だけでなく音楽に合わせた体操で健康になつていただけたかと思っております。



盛り沢山の内容でしたが、夏越の祓に祈願するイベントとなりました。これからも元気でお過ごしください。

記者・大村 篤史

HCC桃山台

6月23日(木)・24日(金)

2ホームそれぞれで、茅の輪くぐりを行い、半年間の穢れを清めていただきました。後、巫女に扮したフェローと記念撮影や茅の輪くぐりが終わると、音楽療法士の講師による参加型のエンターテインメント「音楽療法コンサート」を行いました。6月の季節にピッタリな歌に合わせて身体を動かす、またフルートの演奏を聴いていただきました。充実した時間を愉しんでいただきました。

「半年分の悪いものを全部落とすから、これからは元気で過ごせるわね。元気が一番！」等、元気なお話をいただきました。デザートに水羊羹をお召し上がりいただき、イベントは無事に終了となりました。皆様、残り半年も元気に笑顔で過ごしましょうね!

記者・山本 有輝



HCC音屋山手

6月15日(水)

会場となった1階パインホールは、会場の茅の輪を設置し、皆様は半製の茅の輪をくぐりました。茅の輪くぐりを行っていただきました。夏越の祓にたいしてのお話や生の雅楽演奏をお楽しみいただきました。

無病息災を祈願する神事を取り入れたイベント。音楽鑑賞や特別な食事など盛り沢山のイベントとなりました。

これからの皆様も健康で愉しめるよう、様々なイベントを企画してまいります。

記者・原 慶彦



HCC桃山台

母の日ディナー!
居酒屋ディナーショー
(父の日ディナー)

5月7日(土)、アシステッドリビングホーム豊泉家桃山台では、4階ゴールデンルームにて『母の日ディナー』、6月18日(土)ゴールデンルームにて『父の日ディナー』のオプショナルイベントを開催いたしました。

母の日イベントでは、贈り物として赤いカーネーションをプレゼント。お食事には、天ぷらを揚げた実演を行い、天ぷらが会場に広がる「出来立ては美味しいわね。料理長にお礼言としてください」と笑顔で仰っていただきました。

父の日イベントでは、人気の『豊泉家居酒屋』が、今回はなんと「食べ放題! 飲み放題!」さらには演歌ショーも開催するなど、より皆様に楽しんでいただけました。

特製手作り豆腐をお通しに、焼きそば、お好み焼きの実演調理、お造り盛り合わせやだし巻き玉子など沢山の料理を召し上がっていただきました。

「お酒を飲みながら歌も聴けていい日になったわ」と皆様で談笑されながら、愉しんでいただけました。一日になりました。私たちも皆様に日々の感謝をお伝えすることができた良い一日になりました。

記者・山本 有輝



HCC音屋山手

初オンライアクティビティ
「POLA」クラブ

6月6日(月)音屋コミュニケーション1階パインホールにて、アクティビティ「POLA」オンライン講座を開催いたしました。

音屋コミュニケーション初のオンライン企画となった当アクティビティは、株式会社POLAの皆様が共同で、セルフマッサージ講座を開催いたしました。

始めに、エアコンによる冷えや寒暖差によって血行が悪くなる6月の環境についてのお話や、簡単な運動など温活の重要性についてお話いただきました。

株式会社POLA様より事前にご準備いただいたハンンドクリームを使用し、皆様と一緒にお一人でも実施可能なセルフハンドマッサージの実習を行いました。「これなら簡単に出てくるね」と皆様お一人おひとり真剣に取り組んでいる様子が印象的でした。

最後には、サプライズで「化粧水」のお土産をいただきました。皆様から「また開催してほしい」と嬉しいお言葉もいただき、大盛況のコラボアクティビティとなりました。

株式会社POLAの皆様、ありがとうございました。

記者・原 慶彦



HCCスカイクラブ

私たちのやりがいの素

ほうせんか病院で日々活動している私たちが一番嬉しいと思うことは、患者様の笑顔と優しいお言葉です。

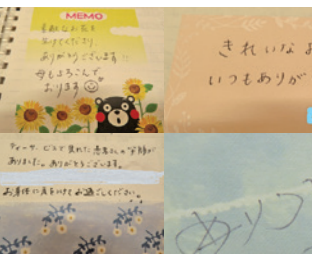
先日、患者様やご家族の皆様からメッセージカードを頂戴しました。フェローとボランティアの皆様と共有し、皆で喜びを分かち合いました。皆で和む時間を過ごしました。

何気ないいつものサービスやイベントにも、事前で打合せをし、危険の無いよう準備を整え、一人でも多くの患者様に楽しんでいただき、ホッとすることが、現場を過ごしていただけるよう、現場の皆様、また病院のボランティアの皆様、また病院の看護師や医師の皆様にもご協力をいただきました。毎回の協力を引き締めながら行なっております。

そんな時、看護師フェローからもメッセージカードをいただきました。私たちの活動が看護師フェローの皆様をサポートになっていて、と知ることができ、よかったですと感じました。

これからも、患者様に安心して、利やかなひと時を過ごしていただけるように努め、また皆様とも協力してサービスの質を向上させていくことが出来るよう、フェロー一同、さらに力を合わせて活動をしていきたいと思っております。

記者・山本 咲千代

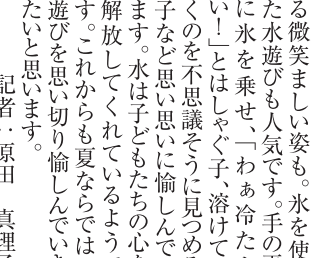


HCCキッズクラブ

水遊び大好き!

今年はおつという間に梅雨も明け、本格的な夏が到来しています。冷たい水が心地よく感じられ、曇りを吹き飛ばす勢いで元気いっぱい水遊びを愉しむ子どもたち。朝の集いで「水遊びしようかな」とお話しすると、「やったー!」と大喜びの子もたくさん。準備を始める前、早くお外で遊びたいと座って待つ可愛い姿、玄関前のビニールプールを囲み、カップやジョウロにお水を入れ、ジャージャー流し水鉄砲の使い方も楽しんで上手にこなしています。ペットボトルの飲み口にジョウロを挿し、上から水を流し入れて遊んでいるお友だちを見て、ペットボトルが倒れないよう持つてあげている微笑ましい姿も。水を使っていた水遊びも人気です。手の平に水を乗せ、「わあ冷たい!」とはしゃぐ子、溶けていくのを不思議そうに見つめる子など、思い思いに愉しんでいます。水は子どもたちの心を解放してくれているようです。これからも夏ならではの遊びを思い切り楽しんでいきたいと思っております。

記者・原田 真理子



2022年6月度
フェロー大賞 月間賞

豊泉家フェロー大賞

HCC(家縁)ドメイン

NPO法人SG博友会 豊泉家コミュニティクラブ(HCC) 竹林晃 キャプテン
「豊泉家千里体育館」のサインライティングの提案を続けてきました。安全や法令等を理由に実現まで至らず、長年の課題となっていました。しかしその後も諦めずに取り組み続けた結果今年6月に無事にサインアップを行うことが出来ました。
その結果ご利用者の案内がスムーズにたつこと、豊泉家の取り組みを地域の皆様にも広く知っていただけるようになったことは、家縁健康社会づくり実現へ向けた大きな歩みとして評価されました。
記者：6月度を受賞したお気持ちをお聞かせください。
竹林：評価していただけたこと、大変嬉しく思います。豊泉家の取り組みを継続して取り組めた理由を教えてください。
竹林：まず、任せていただいた仕事を諦める選択は無く、様々な方に協力いただきながらのようすれば改善出来るかを考え、愚直に地道に徹底的に取り組んだ結果、今回の実現につながったと考えております。
記者：サービスの検討、提供をする際に、大切にされていることは何ですか。
竹林：HCCとして大切にしていることは「笑顔になつてくれる人を増やすこと」です。私たちのサービスに対して反応してくださったり、笑顔になつてくださったなんて、こんなに嬉しいことはないと思っております。
記者：最後に今後の目標を教えてください。
竹林：「あなたに出会えてよかった」と思ってくたさる方を一人でも増やせるようにHCC「丸」となつて取り組んでまいります。



NPO法人SG博友会
豊泉家コミュニティクラブ(HCC)
竹林晃 キャプテン

フェロークラブ慶弔のお知らせ

社会福祉法人 福祥福祉会 桃山台コミュニティCCT 佐野良兼キャプテン(以下Cap)と住之江コミュニティSCC 佐野みなみご夫妻に、5月10日(火)、第二子となる斗哉(とうや)くんが誕生しました。佐野Capにお話を伺うと「私の取り柄を引き継いで、明るく前向きに育つて欲しいですね。将来的には一緒に野球をやりたいです」とはにかみながらお話しくださいました。佐野ご夫妻、本当におめでとうございます。



斗哉くん

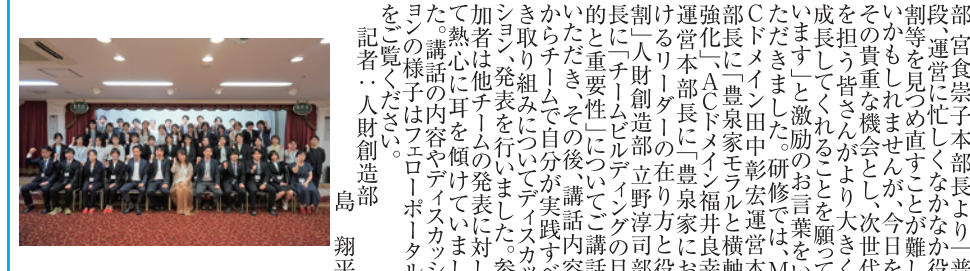
社会福祉法人 福祥福祉会 北緑丘コミュニティグリーン☆ スレッド 高田大暉 美咲ご夫妻に、5月16日(月)、第二子となる青昊(せう)くんが誕生しました。ご主人である高田フェローにお話を伺うと、「退院後、初めて抱いた赤ちゃんの軽さに驚き、責任の重さに身の引き締まる思いでした。名前の通り、上を目指す向上心のある人間に育つて欲しいです」とお話しくださいました。高田ご夫妻、本当におめでとうございます。



青昊くん

第9回豊泉家
サマインディングセッション

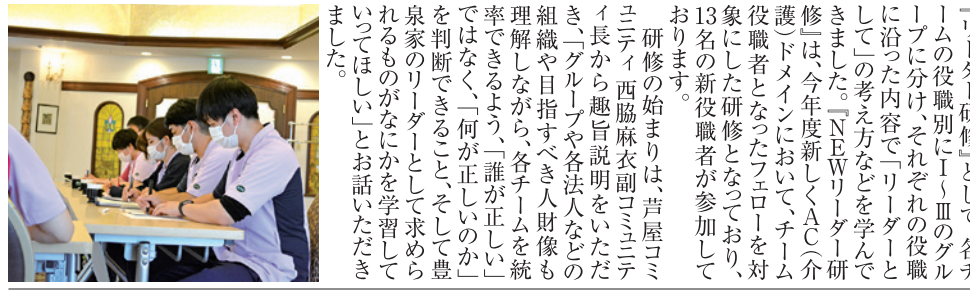
開催日：2022年7月9日(土)
会場：アシステッドリビングホーム 豊泉家 桃山台4階
ケアハウス 豊泉家 桃山台6階
コミュニティホール
サマインディングセッションは、アイスキャプテンとチームスリーを対象に豊泉家経営システムを理解し実行すること、またドメインを越えた横軸を強化することを目的に開催しております。
開会挨拶として、一般財団法人SG豊泉家 人財創造本部 宮食崇子 本部長より「普段、運営に忙しみなかなか役割等を見つめ直すことが難しいかもしれませんが、今日こそその貴重な機会とし、次世代を担う皆さんがより大きく成長してくれることを願っております」と激励の言葉をいただきました。研修では、MCDメイン 田中彰宏 運営本部長に「豊泉家モラルと横軸強化、ACDメイン 福井良幸 運営本部長に「豊泉家におけるリーダーの在り方と役割」人財創造部 立野淳司 部長に「チームビルディングの目的と重要性」についてご講話いただきました。その後、講話内容を各自でチームで自分実践すべき取り組みについてディスカッション、発表を行いました。参加者は他チームの発表に対して熱心に耳を傾けていました。講話の内容やディスカッションの様子はフェローポータルをご覧ください。



記者：人財創造部 島 翔平

新しい教育研修

豊泉家グループでは、人財育成のための研修を多く実施しておりますが、この度、次世代の豊泉家グループを担う人財の発掘と育成に向け、「NEWERWERT」の2種類の教育研修を新たに立ち上げ、実施いたしました。両研修共に、社会福祉法人 福祥福祉会 阿久根賢一 理事長が講師を務めます。
まず、6月16日(木)に第1回目が行われた「NEWERWERT」研修について、これまで「リーダー研修」として、各チームの役割別にI・II・IIIの役割に分け、それぞれの役割に沿った内容で「リーダー」としての考え方を学んできました。「NEWERWERT」研修は今年度新しくAC(介護)ドメインにおいて、チームリーダーとなったフェローを対象にした研修となっており、13名の新役職者が参加しております。
研修の始まりは、若屋コミュニティ 西藤麻衣 副コミニティ長から趣旨説明をいただいた後、「グループや各法人などの組織や目指すべき人財像も理解しながら、各チームを統率できるよう、「誰が正しい」ではなく、「何が正しいのか」を判断できること、そして豊泉家のリーダーとして求められるものなにかを学習していただく」とお話しくださいました。



次に、7月5日(火)に第1回目が行われました「実践熟NEWERT」についても、これまで「実践熟」という名前で、約10年間各ホームのコミュニティリーダーやチーム役職者など、法人を取り組むために必要な考え方や柔軟な対応力を学んできましたが、「実践熟NEWERT」はチームの未来を担う人財を育成するために開催されます。

研修内容は「人間力」を高めるため、先行して行われている「実践熟」と同様の資料を使い、高みを目指した2ステップを行く研修となります。研修内で阿久根理事長が参加者に「自分の心を磨いて、明日からの行動、実践に落とし込んでいく」ことの大切さを伝えていただきました。
最後に、阿久根理事長より「今回の研修で、品性・品格を高めていくことで、結果的に顧客への還元にも繋がっていくと思えます」とのお言葉を頂戴し閉会いたしました。これから豊泉家を引っ張っていくリーダーとして、両研修参加者の成長を期待しております。
記者：広報戦略室 森永 真衣

フェロークラブ 掲本板

豊泉家コムレイズ練習会
6月4日(土)、豊中市にある大門公園野球場にて、豊泉家コムレイズの練習会を行いました。夏の到来を感じさせる強い日差しの中、豊中市野球選手権大会の敗北から浮き彫りとなった守備面の課題をクリアするために佐野良兼 主将が考えた対策メニューに真剣に取り組みました。
「思っていた動きが出来ていない」「ゴロが捕りにくい」と各々の課題をノックや内野を中心とした実践練習を通して、確かめるように練習に取り組み、秋の大会でのリベンジに向けた歩を踏み出しました。
また、この日より2022年度新卒の中谷輝ひかるフェローが体験入部を経て正式にコムレイズの1員となりました。「ショットを中心にどこでも守ります」と早速レギュラー争いへの意欲を示し、今後の活躍に期待が高まります。コムレイズでは引き続き部員を募集しております。野球に興味がある、また体験入部してみたいというフェローは人財創造部までお声掛けください。
記者：人財創造部 梅本 大地



6月21日 フットサルサークル



6月23日 バドミントンサークル





6月11日(土)、箕面メイプルホールで開催された「共に生きるコンサート26」に出演、演奏いたしました。久しぶりの出演という事もあり、皆様の緊張の面持ちでしたが、日々行なっております「音楽クラブ」で練習してきた成果として、笑顔いっぱい元気ハツラツで演奏いただきました。

「タンバリン」や「トーンチャイム」等の楽器と歌を織り交ぜ、伴奏には日々のクラブの講師をお願いしている先生とHCC会員様との連弾で見事に盛り上げてくれました。また、ジヨブワークカレッジの皆様は「カホン」という打楽器と「ベル」で素敵な演奏を披露していただきました！

HCCチャレンジド、オリジナル楽曲「店長さんのレモンジユ」も初披露！ホール内が温かい雰囲気になり、みなさん喜んでいました！出演後には、「緊張したけど、楽しかった！」「失敗したからもう練習してリベ



ンジしたい！」等、緊張から解放され、達成感を感じられた様子でした。

今回、久しぶりにチャレンジドクラブ豊中、箕面の両会員の皆様が合同で出演したイベントとなりましたが、今後もこのような機会を増やし、コミュニティの垣根を越え、様々な「経験と体験」を行なってもらいたいと思います。

コロナ禍での開催のため、運営事務局による感染対策が徹底される中、出演時間しかホールに滞在することはできませんでしたが、大きなホールで演奏できたことが、今後の練習のモチベーションアップにも繋がったようでした。

お忙しい中、ご来場いただきましたご家族の皆様にも感謝を申し上げます。また、皆様の日頃の練習の成果を披露いただける機会を創っていきたいと思います。

記者・高崎 孝宜



座談会では、前回お悩みとして挙がっていた内容について、各々の経過を伺うところからスタートし、認知症の進行を心配されるご家族のお悩み等を伺うことが出来ました。中には、「認知症と診断されたわけでは無いものの、皆さんのお話を聞いていると家族にも似通る症状がある」と皆様のケアがとられても勉強になるお話がとされる方や、自立支援、と介護の境目にあるとお話しされる方もいらっしゃいました。本人でやれることは支援したいと思うが、どこまでが出来ることで、どこから手を貸していいのかの判断がとて難しいとお話されたことに、認知症ケアプロジェクト代表 阿久根 賢理 理事長より「個客」として何が幸せなのかを考えたことが一番だと考えて、我々のケアが始まっている。症状もそれぞれであるからこそ支援が難しい。抱え込まずに私たちが一緒に支援していければと思っております」とお話しいただきました。

記者・広報戦略室 森永 真衣

新型コロナウイルス蔓延の第7波の対策として、豊泉家PCR検査センターでは、株式会社iCAT(アイキャット)様との協議を重ね、この度新たに始める3つの取り組みをご報告させていただきます。

①「新たな検査試薬の導入」これにより、PCR検査の判定に要する時間の短縮(これまでの3分の1程度に成功しました)。時間短縮に伴い、1日当たりに対応できる検査数も柔軟に対応が可能となりました。

②「検体採取方法の変更」これまででは2mlの唾液の採取が必要でしたが、「1mlの生理食塩水を口の中を含み10秒程口の中に含み吐き出す」ことで検体として提出が可能になりました。これにより、唾液が出にくい方も短時間で採取が可能になりました。

③「最新の検査機器導入」7月から稼働している「大阪コロナ高齢者医療介護臨時センター」(ほうじせんか)所在地・大阪市住之江区)で導入されます。「モバイル型PCR検査機器」は、1検

豊泉家グループは、2015年4月より、豊中市立新千里にあります豊中市立千里体育館のネーミングライツパートナー「豊泉家千里体育館」として活動しております。

活動している中で、「道路から見える体育館の看板がない。特に夜間は暗くて、場所が分かりづらい」というお声を頂戴しました。課題解決のため、豊中市と豊泉家グループで調整を行い、交通量の多い南側(大阪府道121号吹田箕面線)に6月7日、夜間照明の設置・点灯を行いました。

今回の夜間ライトアップにより、地域の新たなシンボル



として、これまで以上に多くの方が集う体育館、より多くの市民活動を支える場所になることを期待しております。

記者・広報戦略室 森永 真衣

PCR検査3つの新たな取り組み

体あたり15分で結果判定が可能になりました。個客フレキシブルの体調の変化にも早期に対応することが可能です。これからも引き続き、皆様の不安を軽減できる様に取り組んでまいります。

記者・在宅検査事業部 河本 真

豊泉家グループPCR事業の最新情報はこちらから

画像は、株式会社アイキャット様より提供

